



飯田OIDE長姫高校は

飯田工業高校と飯田長姫高校が統合し、平成25年に開校した総合技術高校です。
 全日制6学科、定時制の県下最大規模の高校です。

全日制 機械工学科
 電子機械工学科
 電気電子工学科
 社会基盤工学科
 建築学科
 商業科(2クラス)

定時制 普通科



「OIDE」とは…

O…Originality (独創) **I**…Imagination (想像)
D…Device (工夫) **E**…Effort (努力)

総合技術高校とは

複数の学科がそれぞれに高い専門性を保ちつつ、学科相互の基礎的な科目や学科横断的な専門科目を学ぶ高校のことです。

本校の2年生全員が総合技術科目「地域ビジネスと環境」を学び、3年生では、工業と商業の相互の基礎科目や「機械総合」、「電気総合」、「測量基礎」、「建築基礎」、「商業基礎」、「ITデザイン」などの多様な科目を各自の進路と興味に応じて幅広く選択することができます。「ものを作る」ことと「ものを売る」ことには密接な関係があります。「売れるもの」を作るには、工業と商業の両方の知識・技術が必要になります。そのような視野の広い、多方面で活躍できる人材を育てていくことが、総合技術高校の目標です。

部活動

運動部18、文化部10と多様なクラブが活発に活動しています。

<原動機部>

原動機部は、単3充電電池40本を動力源とし、モーターで走るカーボン製車体を製作する部活動です。CAD設計から、金属・樹脂加工、プログラミングを通じて車体や搭載部品を製作します。昨年の鈴鹿サーキットで行われた全国大会で、高校生部門12連覇を達成しました。実践的なものづくりに挑戦しませんか？



機械工学科 「資格取得を目指そう」

機械工学科では、授業で学んだ内容をさらに深めたり、自らの興味をもとに挑戦したりと、多くの生徒がさまざまな資格取得にチャレンジしています。資格取得を目標に入学するのはもちろん、入学後に興味を持って新たな挑戦を始めることも大歓迎です。その一例として、国家資格「機械加工3級プライス盤作業技能士」の試験に合格し、さらに長野県技能競技大会で1位となった生徒が表彰を受けました。努力の成果が形となって現れた、非常に素晴らしい出来事です。



電子機械工学科 「マイコンカーグランプリ」

電子機械工学科は機械・電子・制御の3分野を総合的に学ぶ学科です。「動くものづくり」を目指して、楽しみながら幅広い知識と技術を学びます。将来は機械系・電気電子系・プログラム系の多分野に進学・就職し、活躍できる人を育てています。本学科独自の行事「第7回マイコンカーグランプリ」を開催しました。3年間かけて設計・製作・プログラムしたオリジナルのマイコンカーは思いの詰まった車体がコースを疾走するたび、多くの感動が生まれ、会場を盛り上げました。



商業科 「地域人教育～自ら考え、自ら行動する力を伸ばす～」

商業科では「地域人教育」を3年間学びます。「地域人教育」とは、地域の“問題”や“魅力”を発見し、地域の活性化に向けて自ら考え、自ら行動することを学ぶ授業です。また、飯田市と松本大学の協力のもと行っているため、3年生は市長さんに講義をいただいたり、松本大学の先生からアドバイスをいただきながら活動することができます。



建築学科

「建築を学ぶ」

4月に入学した1年生は、建築関係の座学だけでなく、製図、木構造の軸組模型の制作、建築測量など自身で考えながら作業する授業をしています。

5月末には3年生課題研究ワークショップや内装工事講習会、6月にはキャリア学習の日に建築物の見学に行くなど、全ての学年において様々なイベントや行事があります。普段の授業では経験することのできない貴重な体験が待っています。



電気電子工学科 「1年生 製作実習」

電気電子工学科では、電気エネルギーを発生させる発電や送電などの電力分野と、スマートフォン等の電子回路・パソコンに関連した情報通信分野をバランス良く学びます。
 1学期は2年生を中心に「第二種電気工事士」の資格取得にも力を入れています。



社会基盤工学科 「1年生 測量実習」

社会基盤工学科は、測量や土木施工、土木基礎力学などの学習や、測量実習などの授業を通し、地域に根差す土木技術者を目指す学科です。

1年生の測量実習では、レベルと呼ばれる機械を用いて、高低差を測り、地盤高を求めています。初めて触れる機械に戸惑いながらも、積極的かつ元気に行っています。一人ひとりが役割を果たし、仲間と協力し声を掛け合っています。



第13回 桜姫祭 一般公開

令和7年 7月5日(土) 11:00～15:00
 6日(日) 10:00～15:00